

ほしのや便り

11月27日（日）谷戸山公園まつり開催予定

新型コロナウイルス感染症の状況によりますが、3年ぶりに谷戸山公園まつりが開催されます。

今回は、従来の里山体験館ひろばでの収穫祭中心の催しから、パークセンター前の東口広場でも座間市観光協会による催しやNPO法人

Smile blissによる座間マルシェ（物品や食品の販売）も開催され、会場が2ヶ所の祭りへと変わります。

当社協では前回通り里山体験館ひろばにて『ふれあい作品展』や大根・ポップコーンの販売を予定しております。会員各位に作品を募集させていただきますので、是非自信作を応募願います。



ふれあい作品展の様子



星の谷ほし保存会による演奏

☆『ふれあい作品展』の作品募集は、後日御案内差し上げます。

ざる菊、新芽から苗取りにチャレンジ！！



谷戸山公園里山体験館の花壇で育成している「ざる菊」ですが、今年度は座間市菊協会の講習会に参加し苗の株分け方法を学び、磯部ざる菊組合に助言を頂きながら、株分けと挿し芽の苗取りからの育成にトライしました。



株分けと苗取りは5月9日の花壇作業日に参加された方々と試行錯誤、何とか育成ポットに120本作り里山体験館裏の軒先に置き、日々の水やりや追肥をして枯れぬ様に見守りながら育成し6月9日植替えることが出来ました。また猛暑の中、作業参加者の除草の効果があっか今の所、根付けは良い様です順調に育っています。

11月には色とりどりの花が満開になることを願っております。

もち米を市社会福祉協議会に寄託しました

7月4日、市社協に昨年同様、もち米60kgを寄託させて頂きました。

例年、谷戸山公園内水田で収穫したもち米を翌3月の『ふれあいまつり』でお餅に利用していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大により中止したため

市社協を通じて生活困窮者支援や市社協の事業に活用していただける様に寄託したものです。



災害時の避難について講習会を受けて来ました。NO. 2

広報紙の前回号にて座間市防災対策総合ガイドとハザードマップのご案内をしましたが、今回は防災対策総合ガイドの内、各家庭での食料品備蓄についてご案内します。

自宅にどのくらいの食料品備蓄の目安として、おおむね3～7日以上が推奨されています。

4人家族であれば3食を7日分 およそ84食分となります。

お水も同様です（1人3ℓ/日が目安）

既に備蓄されている家庭も多いかと思いますが、84食分と聞いてとても無理と思われる方も多いかと思います。

効率的な備蓄については次回ご案内します。

備えよう！家庭内備蓄！
生活を支える備蓄 食料品編

3日～1週間分以上の備蓄をしましょう！



飲料水は1人1日3リットルが目安です。

自治会会員募集

自治会では、随時会員を募集しております。

各地区の自治会長までお気軽にご連絡ください。

自治会は災害時の安否確認、救助活動、消火活動等を会員の協力、助け合いで行います。

また、災害時に使う機器等を防災倉庫に保管、管理しています。

自治会は安全・安心な街づくりの活動を行っています。

いざと言うときのためにも普段から地域とコミュニケーションを持ちましょう。

編集後記

日本各地で3年振りの開催といったニュースが入っており、地区の『第26回谷戸山公園まつり』も今回3年ぶりに実施される運びとなりました。久しぶりの「ふれあい作品展」で、会員各位の力作・自信作を観ることを楽しみに、しております。

